

# 新ポリシーへの ISPから見た質問と課題

猪俣 彰浩

富士通

IPv6オペレーション研究会

# 申請の方法

- 新規申請の妥当性確認
  - 2年後の200ユーザはどう判断するのか
  - チェックするのはRIR or NIR?
- 既存取得範囲の拡張方法
  - /35 /32の申請はJPNICで取り次ぐか
  - 以前登録した情報は継承されるか
  - sTLAホルダーにも200ユーザは適用されるか

# 申請可能な組織

- ISP外組織の申請
  - データセンター
    - 参加組織の基準はどのように見るか
    - 割当対象が誰かにも関連
  - 企業の申請
    - 企業として、ISPと独立して申請をすることは可能か
    - 企業内のクローズネット利用への申請も可能か
- 同一組織の割振り申請の可否
  - 同一組織でも目的別に割振りを受けたいケースはある
    - データセンター用, ISP用
    - 社内用, サービス用

# 参加組織への割当指針

- サブISP
  - サブISP用の予約はどの程度ゆるされるのか
    - /36くらい? (/48 × 4096)
  - 直接割振り申請推奨の基準は？
    - 規模：ユーザ数, POP数
    - システム構成：ASホルダー, マルチホーム
- ホスティングユーザ
  - 適当な割当サイズは？
    - 契約単位で/48割当て
    - /64の場合はResidential User扱い？
  - 共用セグメント運用はインフラ扱い？
- 企業ユーザ
  - 割当てたアドレスを返却したくないときは？
    - イントラに使うとリナンバリングしにくい
  - 違うISPだったら、追加割り当てしても良い？

# データベース登録

- Residential User

- Residential UserはDB登録管理者はISPが代行してよいことになっているが、誰をResidential Userとみなすか？

- 組織種別: タリフ, 申請時に
- サイズ: /48だったら、nonresidential

- 可変アドレス

- IPv4サービスではアドレスを固定せずにISPから逐次割当ててるサービスが一般的
- IPv6で同様サービスを行った際、登録対象はISPが代行してよいか

# 逆引きは必要か

- IPv6でのグローバルな逆引き義務は必要ないのでは？
- IPv4での状況
  - フィルタ目的が多い (TCP wrapper等)
  - していないケースも多い (特に海外)
- IPv6では
  - 逆引きの設定の運用難
    - 設定が複雑, ホストが多く登録が大変
  - フィルタが簡単
    - アドレスが多く、目的別に使い分け可能
- 運用上の問題
  - 他のネットから特定されたくない
    - ISP内部で運用目的利用はできる
  - 特定はPrefixだけで十分
    - Whoisで良いか